

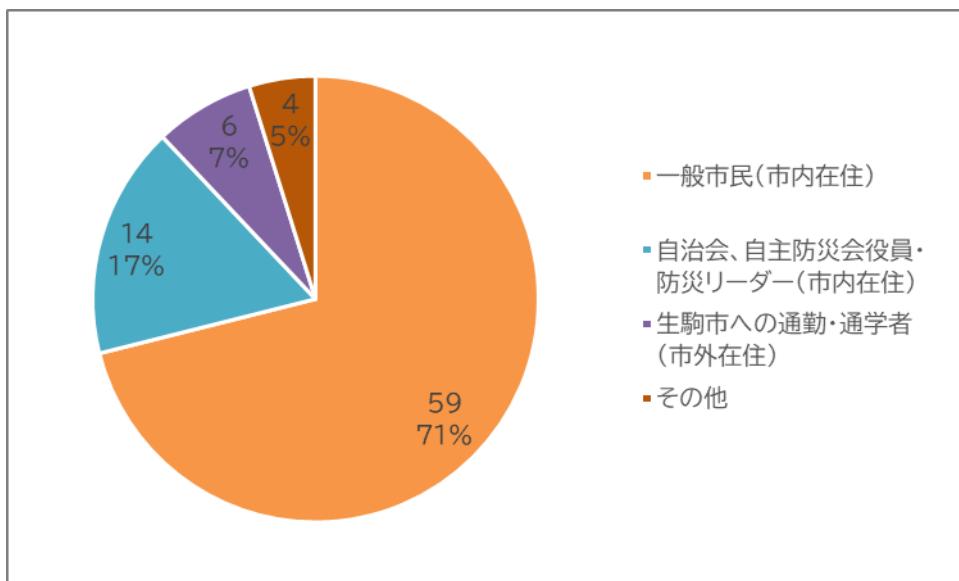
令和7年度 生駒市総合防災訓練「防災講演会」アンケート結果

アンケート実施期間:令和7年10月19日(日)~10月26日(日)

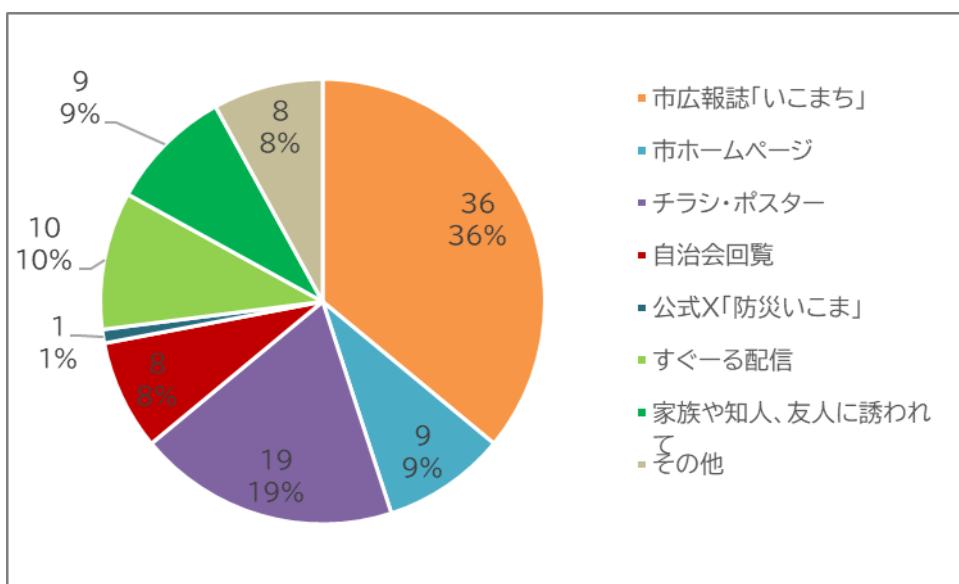
参加者:合計398名(事前申込者:322名、当日受付者24名、オンライン視聴者52名)

アンケート回答者:83名(オンライン視聴者は対象外)

Q1. 参加者の属性



Q2. このイベントを、何でお知りになりましたか。(複数回答可)

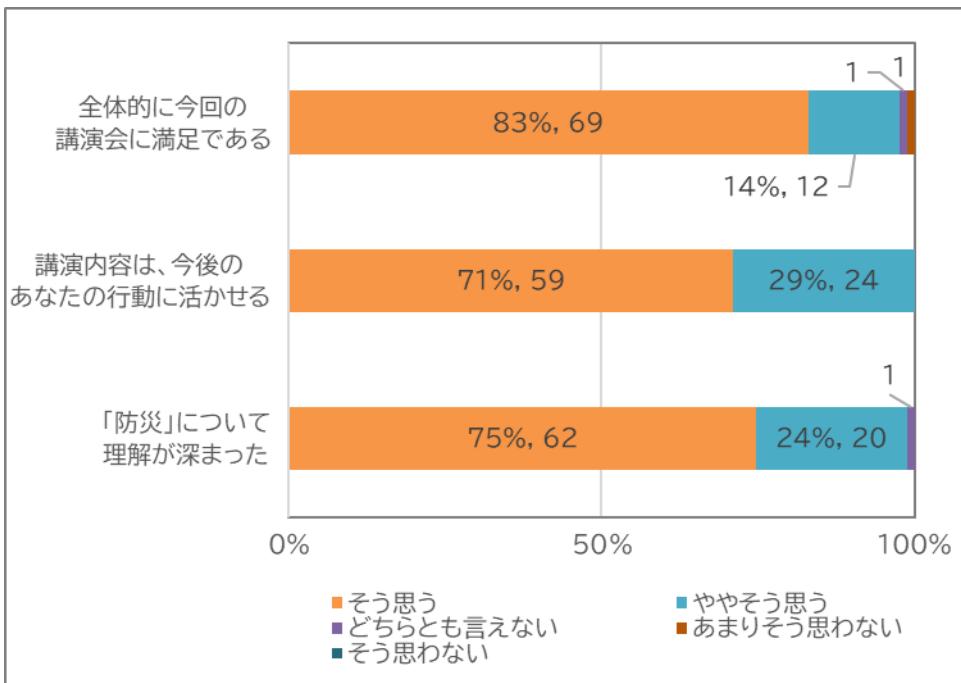


◇その他の意見

・危機管理課からのメール(防災リーダー向けメール)

- ・まちのコイン「くるり」
- ・LINE
- ・防災マルシェに企画や出店されていたメンバーとのネットワーク

Q3. 今回の講演会を「5段階評価」で採点をお願いします。



Q4. 今回の講演会で特に印象に残った話や今後の生活や防災活動に役立つ話があれば、ご自由にお書きください。

- ・災害が起きた時、一番大事な考え方は「自助」である
- ・避難指示が出たからといって指示に従わなくても良い
→「自助」ができない場合
→いま避難すると危険な場合
- ・正木明氏曰く『防災の大事な考えは、自助である』という話。自分の身の危険を回避して、家族や大事な人を助けるように、心掛けていきたいと思いました。
- ・防災において、自助の考え方が最も重要であると初めて知り、納得しました。
- ・今、防災リュックの中とか用意しているけど、改めて必要なんやなと思いました。
- ・子供がいる立場としての行動を考えさせられました。
- ・避難経路の大雨、浸水時の危険度。側溝などが見えなくなり、落とし穴のようになってしまいう危険。映像を見て改めて確認できた。
- ・天気予報の正しい使い方として3つ話されたことも印象に残りました。画像やマーク等の意味を正しく理解する、必ず新しいものを使う、災害時は自分から取りに行くこと。また気候変動と防災のこ

とや、避難行動判定プローといった自助の大切さにつながる話をうかがって改めて啓発の大切さを学びました。

・自助の考え方について参考になりました

・正木さんに会いたい～という不純な動機でしたが(笑) 避難する道路を実際に歩いて危険箇所を想像してみる、自助のために今家族で災害時を想定し話し合っておく、など大切な準備を知ることができ、参加させていただけて良かったです。

・気象予報士の皆さんが近年の異常気象を危惧しているという事実や、75 年後には更に 5℃も気温が上がる見込みであるにも関わらず現米大統領は無関心である(だけならまだしも….)ことに驚きました。

・現状を知ることで子どもたちの将来に不安を感じましたが、電力の元を切替えることや、まずは現状を知ること、それを周りの人に伝えることで少しずつ世論を動かすことなど、私にも出来ること教えてくださいとても有難いお話をありがとうございました！

・生駒市の危機管理課の皆様、貴重な機会を作ってくださいありがとうございました。

・災害が起きた時に一番大切な考え方が「自助」であるという講和を聴いて認識を改めることができました。

・個人の小さな努力では温暖化を止める大きな力にはなれないとう点が印象に残りました。

・災害はいつ起こるかも？やはり日常から用意しておくことと痛感しました。

・災害があったら冷静に行動しようと痛感しました。

・いつ来るかも？災害の時に自分の命を守る

・行動ができてもしも余裕があれば助けてあげる行動を起こしたいです。”

・自助が大切

・日頃からの話し合いや備えが大切だと思いました

・正木さんにもっと質問したかったです

・地球温暖化と災害の関係性

・避難所までの通路の確認

・東日本大震災でのご家族のお話

・ハザードマップは、みているだけでなく、自宅に○をつけて、避難所までの道を確認する必要があると知りました。

・東日本大震災の子どもを守る為にすべきこと。

・気候変動予測

・2100年、温暖化の状況を聞いて今でもかなり生きづらいのにどうなってしまうのか。これから生まれてくる子供たちのためにも少しでも回避できる方法がないのか改めて生活を見直していくかないといけないなあと実感しました。

・日頃から歩道の危険箇所を把握しておくことが大事だと思った。

・「自助」が大事だと言うことです。ハザードマップをしっかりと把握し、自分の足で歩きながら確かめたいと思っています。

- ・市町村が出す「避難指示」には従わなければならないというわけではない。行動するかどうかは自分自身で決めること。
- ・常に家族間での緊急時の話し合いがまず、大切だと再確認しました。
- ・幼い時から、たくさんの経験のある私の母には、どこにいてもいざとなった時に、どうすれば良いかをかんがえなさい、と、聞かされていました。
- 私が若い頃に、母が常に言っていたことが思い出されます 昔の常識がいまの知識、になったわね、と。常に考えること、たくさんの方の体験談を聞くことも大事ですね
- ・正木さんのお話、地球規模の環境の変化が大変気になっていた私にはあらためて納得できるお話でもっとお聞きしたいと思いました
- ・私達の努力もほんの少しあは役にたつとは思いますが 政府にもっと真剣に 未来の子供達のために考え、対処して欲しいと思います
- ・日々の正木さんのお話をもっと沢山の人に聞いていただきたいと思いながら帰路につきました
- ・避難所経路の左右前後高低等を実際に確認する事。自助が先！その先に他助可能
- ・ハザードマップを見て、散歩をして避難経路を確認すること。
- ・正木さんが電気の契約先によって、温暖化対策に繋がる選択が出来るとおっしゃったこと
- ・正木さんは個人的に気候危機に関するボランティア授業されているそうで感銘を受けました。
- ・子供の将来の為にも、異常気象や、温暖化を防ぐ努力が、必須だと実感しました。
- ・防災は、『自助』で、自分の身は自分で守る。日頃から、家族で話す事の大ささも。
- ・自助の大切さ
- ・近年の異常気象
- ・温暖化について
- ・一番大切な考え方は「自助」だということがよく分かりました。
- ・ハザードマップを見る
- ・南海トラフに備える、自助の話、トランプさんの政策、一人一人ができる取り組み など
- ・講演者のわかりやすい話
- ・温暖化防止の為に役立つ話
- ・環境に優しい電気の種類が色々あることを知った。
- ・保育士をしているので、災害がおきて避難した時の保護者との連絡方法を会議で話し合った事があるが、正木さんの話を聞いて改めて避難訓練の大ささを感じた。
- ・たとえ市長から避難指示が出ていたとしても、どうするかは自身が決める事であり、指示に従わなかったからといって罰せられることはない。ただ、指示に従ったからと言って必ずしも助かるわけでもなく、それを訴えても何にもならない。全ては自助。自分の身は自分で守る。自己責任が大切だという話は、納得しました。
- ・正木さんの話がとてもわかりやすかったです。防災について、あらためて考えようと思います。
- ・お話の内容は、すでに知っていることばかりでしたが、防災の準備や心構えは時々この様な機会に また、聞く事によってより確かなものになりますので、参加しました。自然再生エネルギー発電

にもふれられたのは良かったと思います。

- ・自助が大事
- ・気象予報から防災を考える良い機会になりました。また正木さんのボランティア活動(小学校での講演)は大事な取り組みだと感心しました！ありがとうございました。
- ・自助についての理解が深まった
- ・気候変動を長期スパンで見た時に産業革命以降劇的な変化があり、やはりそれが昨今の異常気象に繋がっているのだなとグラフを見ながらあらためて理解できました。質問に対する使う電気を選ぶという話も、テレビではできない内容だと思うので貴重な話だと感じた。避難時に高架にも水が溜まるというのは盲点だった。また東日本大震災のお父さんとお子さんのお話は、自分も子どもが小さいので身につまされる話だったし、発災時に私と夫が大阪で仕事・子どもが生駒で保育園という状態でどうやって家に帰ってくるかを真剣に考えないとと思わされた。
- ・避難する時水が膝あたりまで上がっていたら溝や、特に割れ目、隙間などが見えずそこに足を入れてしまったらという普段は意識しない危険な箇所の再確認のアドバイスが印象に残りました。
- ・地球温暖化が進むと、生活しにくいほどの気温になるとのことで、出来ることをしていこうと思った。
- ・日頃から避難経路の確認と、防災グッズを備えておこうと思った。
- ・正木さんのお話の中で、2100 年にどういう世界になっていてほしいかという温暖化のお話があり、子どもに残せるものは何か、日々できることは何かを子どもと考えるきっかけになりました。
- ・自助が先ず一番優先という事。自分を自分で守る。頭において行動を考える機会を教えていただきました。
- ・自助の大切さ
- ・2100 年に向けてのエネルギー対策
- ・自分の安全が大切である。
- ・自助と共に付いて理解が深まった。また天気予報についての理解も深く知ることができた。
- ・災害があった時はまず自分を優先する(自助)の例えが印象的だった。
- ・講演会や、マルシェを体験して、防災袋を用意しておかなければいけないなと思った。
- ・災害への備え
- ・自助が一番大事
- ・正木さんの天気情報が分かりやすく良かった。
- ・先ずは自助。日頃から家族間で話し合いをして、いざという時の取り決めをしっかりとする事が大事だと思います。
- ・正木さんの講演、とてもよかったです。
- ・「自助」の話に納得できました。
- ・ハザードマップの理解と重要性
- ・ハザードマップに自宅をマークし、避難経路を作つておくこと。
- ・危機管理課にお願い

市 HP に、国土地理院地図にハザードを落とし込んだハザードマップがあり、個々の住宅まで拡大できることを、各防災会に広報して頂けると嬉しいです。

- ・防災と地球温暖化がこれまで結びついていませんでしたが、普段の空気の排出を意識することが、危険な自然現象の低下につながると知ったこと。
- ・地球温暖化について行動することは未来の防災
- ・今年、防災士の取得中。
- ・自助の重要性
- ・災害時の避難の方法考え方
- ・家族との話し合い
- ・ハザードマップへの認識

◇まとめ

『自助』の大切さ、特に『ハザードマップの確認』、『家族との話し合い』、『日ごろの備え』について見直そうという意見が多かった。

地球温暖化や異常気象の話が心に残った方も多く、『子どもたちの未来のため』に行動を見直そうといった意見も多かった。

Q5. 今後、どのような内容の講演会であれば参加したいと思いますか

【防災に関するここと】

- ①災害が起きた時のための備え(物や心構え、行動)など今回より具体的な話
- ②地形によって災害の違いがあると思うので生駒市やその周辺で起きそうな災害を想定した防災のこと
- ③可能ならば実際に被害に遭われた方の話
 - ・避難にはどんな物が必要だったか、
どんな行動をすれば良いか
 - ・避難所での役割
 - ・困ったことなど”
 - ・MBS 元アナウンサーの福本晋悟さんの講演を聞きたいです
 - ・インプットもあって、そのあと参加者もクイズやワークショップ等で体験できるようになれば行動変容につなげられるのではと思う。
 - ・災害を実体験された方のお話や本当に必要な備えのこと。
 - ・ボランティア関連
 - ・災害時のみんなの行動の取り方
 - ・防災体験談
 - ・今回は自助について主にお話しをしていただきましたが、互助や協働についても知りたいと思いました。
 - ・避難所の実態、生活について。

- ・自宅避難時の備え
- ・能登半島地震の市町村職員の体験談
- ・今回のように、いい講師を迎えていただいたら嬉しいです。
- ・HAG ゲームという避難所設営シミュレーションを試してみたい
- ・色々とお話しを聞いたり出来るのもすごく良い機会だとは思いますが、実際に避難訓練や炊き出しなどがあれば参加してみたいです。
- ・防災リュックの中身やいろいろな防災グッズ。
- ・今回のようにテレビの方がこられ、お話ししてくださると子供も楽しめるし聞く耳が持てると思う。
- ・今回と同様の内容
- ・防災に関してなら、避難場所での過ごし方や配給などの様子、プライバシーをどのように守っていけば良いのか、WCやお風呂などのかなりプライベートな問題の実際や課題を知りたいです。
- ・関西大学の河田先生の講演をお聞きしてみたいです。
- ・防災マルシェに出展されていた西尾レントオールの小西さんのお話が実践で役に立ちそうだったので、講演会として聞いてみたい。阪神淡路から東日本、熊本・能登と様々な現場を経験されました。
- ・災害で避難した時生駒市では現在どのくらいの準備があるのかの報告&避難所でのルール、各自で気をつけるべきことのアドバイス
(段ボールのパーテーションや、ベットなど生駒市にもあるのか、トイレはどのような準備がされているかなど)"
- ・生駒断層の状況
- ・ボランティアの募集手段や活動状況、その時の生活状態等
- ・災害時の避難所での衛生管理や感染対策、女性子供に対する性被害など行政だけに任せることではなく市民がその場所で協力が出来る内容などに対しての講演などがあればいざという時に約にたてるのでは?と思う
- ・もう少しリアルに、被災者の体験談を聞きたい。
- ・自助を具体化して、家具や家電等の固定の仕方や安全な配置。自分でできない場合の、安心して頼める業者やボランティア団体等の紹介。また、シルバー人材センターや福祉団体の仕事のひとつとして考えられないでしょうか?
- ・防災士協会、消防、警察、自衛隊と市民で実際に活動や公演会を是非ともお願ひ致します。
- ・避難所開設やペット対応についてなど。
- ・これも、お願ひになりますが、
今年の総合防災訓練の内容、振り返り、成果、今後の展望などを話す、座談会のようなものを開催してくれることを希望します。
- ・災害への認識を深める講演

※今回、『防災に限る』と記載がなかったため、防災以外の意見もありましたが割愛しています。

Q6. 今後、市や地域主催の防災訓練や防災イベントに参加したいと思しますか？

